

平成16年4月21日

CRLけいはんなオープンラボ研究環境整備・オープンラボ利用状況

平成15年度6月スタートのけいはんなオープンラボ施設の研究環境整備

けいはんなオープンラボ施設の拡充として、高機能ネットワーク及びヒューマンコミュニケーション研究の推進のため、実験施設の整備を行うとともに、各オープンラボ研究居室の研究環境の整備、研究室の増設を行った。

・GMPLS相互接続性検証実験施設

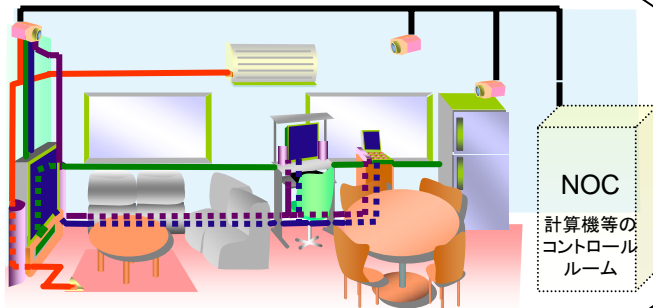
光ネットワークにおける通信パス設定を制御するプロトコルとして期待されているGMPLSの相互接続性検証を随時実施可能な環境を構築するための実験施設を整備。

・分散仮想ネットワーク開発実験装置

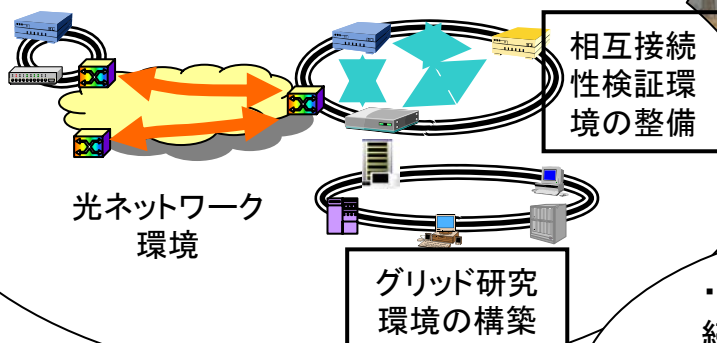
高速ネットワーク上に分散的に存在するネットワーク・コンピュータの共有資源を、仮想的にひとつあるいは複数のシステムに見立てる実験環境をグリッド技術を使って構築。

・ユビキタスホーム

今後急速に進んでいく家庭への情報通信技術の導入を背景とし、ヒューマンコミュニケーション技術の研究開発を推進するため、「ユビキタスホーム」と呼ばれる家庭生活における実証実験を行うテストベッドを構築。



3階:ユビキタスホーム

けいはんなセンター
(けいはんなオープンラボ施設)1階:GMPLS相互接続性
検証実験装置、分散仮想
ネットワーク開発実験装置

・各実験室間及びJGN II との接続のための光ファイバー回線・装置の充実、使用電源容量の増設

・研究室2部屋、小部屋2部屋、休憩室等の増設

オープンラボ全階:研究環境整備

けいはんなオープンラボ施設の拡充

平成15年6月スタートのけいはんなオープンラボ施設において、以下の3つの実証実験施設を新たに整備するとともに、各実験施設からのJGN IIとの接続を可能とするなど研究環境を大幅に拡充。

ユビキタスホーム

今後急速に進んでいく家庭への情報通信技術の導入を背景とし、ヒューマンコミュニケーション技術の研究開発を推進するため、「ユビキタスホーム」と呼ばれる家庭生活における実証実験を行うテストベッドを構築。

ユビキタスホームには様々な機器やセンサが備えられ、開発技術を実生活で試験することにより検証データを取得することができ、快適で安全・安心な情報通信サービスの技術開発の社会ニーズに呼応した実現に寄与。

GMPLS総合接続性検証実験施設

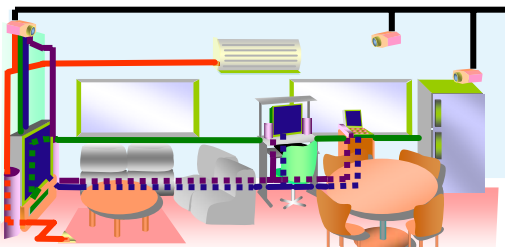
光ネットワークにおける通信パス設定を制御するプロトコルとして期待されているGMPLSの相互接続性検証を随時実施可能な環境を構築するための実験施設です。参加研究機関が被検証機器を随時持ち込んで試験するオープンサイトを構成。

分散仮想ネットワーク開発実験装置

本設備は高速ネットワーク上に分散的に存在するネットワーク、コンピュータの共有資源を、仮想的に一つ或いは複数のシステムに見立てる実験環境をグリッド技術を使って構築。

研究環境の充実

- JGN II のアクセスポイント及び光テストベッド環境を整備
- 実験室間及びJGN IIとの接続のための光ファイバー回線・装置の充実
 - ・光ファイバー(シングルモード(1, 3階12本、2階6本)、マルチモード(1, 3階12本、2階6本)を設置、JGN IIとも接続実験可能、メディアコンバータの設置
- 電源容量の増設
- 研究居室4室増設、会議室2室、休憩室を増設



3階: ユビキタスホーム



けいはんな情報通信融合研究センター
(けいはんなオープンラボ施設)